

ニュージーランドの春から初夏の 最も栄養価の高い牧草を食べて育った 仔羊は“スプリングラム”と呼ばれます。 繊細で柔らかな食感と、 クセのない味わいが好評です。

羊の繁殖期は秋。日本では10月頃ですが、

南半球で季節が逆のオーストラリアやニュージーランドでは4月頃となります。

種が宿った羊は約150日かけて母羊の体内で大きくなり

冬が終わりかけて春を迎える時期に生まれてきます。

つまり、オセアニア地域では8月から9月にかけてが出産のピークです。

そして、春から初夏は植物が芽を息吹く時期でもあり、

大地を緑に染める豊富な牧草は最も栄養価の高い時期でもあります。

生まれてからこの時期の牧草で育った仔羊が「スプリングラム」と呼ばれ、

その柔らかな食感と特別なおいしさで評価されます。

スプリングラムは、毎年1月から3月の『旬』の時期にと畜される仔羊のみに限定され、

2月初旬から4月にかけて販売されるニュージーランド産のチルドラムがスプリングラムです。



牧草豊かな国、ニュージーランドから 美味しい仔羊肉をお届け

南半球に浮かぶ周囲を海に囲まれたニュージーランドは、温暖多雨で豊かな自然環境に恵まれた島国です。

BSEなどの深刻な家畜の病気からも隔離された、まさに理想的な畜産国です。日本と同様に四季があり

ながら、年間の気温差が少なく穏やかな気候で、北島の豊富な降雨と、南島の南アルプスからの清らかで

豊富な水資源が、家畜の餌となる品質の高い牧草の生育を可能にしています。国土の半分以上が牧草地

として利用され、牛や羊たちはストレスの少ない自然放牧で、クローバーやライグラスといった栄養価の高い牧草を食べてのびのびと育てられています。